

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部1年 2部2年	子どもの保健	飯野 伸子	
サブタイトル	子どもの心身の発育をとおして疾病予防と保健指導を理解する	単 位 数	2
授業形態	講義	出席要件	4 / 5以上
開講時期	後期		
到 達 目 標			
1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 2. こどもの身体的な発育・発達と保健について理解する。 3. 子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。 4. 子どもの疾病とその予防法について理解する。 5. 多職種連携・協働することで、適切な対応について理解する。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
1. 幼児教育の専門性を高め理論と実践力を学ぶ。 2. 専門職者として保育に必要なこどもの健康の専門知識を身につける。 3. 他者と連携、協働の学習を通して、豊かな人間形成を身につける。 カリキュラムマップの位置づけ1年次後期（第1部）、2年次後期（第2部）			
授 業 の 方 法			
1. 講義は教科書、power point 配付資料を活用して講義をする。 2. 分かりやすい絵や写真等の教材を活用する。 3. 授業の途中で何度か小テストを実施し知識の確認をする。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：監修公益財団法人児童育成会、編集松田博雄・金森三枝「子どもの保健」			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
習得した知識を確認するために、科目修了試験と小テスト結果を加えて総合評価とする。		定期試験	90%
		小テスト	10%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
復習を必ず行い、不明な点があれば教科書で確認や質問をして不明なままにしない。			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1回	<講義>ガイダンス・子どもの健康の意義と目的 <内容>健康の概念と健康指標を知る	授業科目の理解 子どもの心身の健康の意義および目的を理解できる
2回	<講義>子どもの保健対策、母子保健対策、新生児対策、乳幼児対策 <内容>子どもの保健対策についての動向や内容を学ぶ	子どもの健康保持増進を図るための保健対策について理解できる
3回	<講義>子どもの胎児期からの成長と健康 <内容>胎児期から新生児に至る成長の連続を知る	胎児期から新生児の子どもの成長と健康について理解できる
4回	<講義>新生児の分類と特徴 <内容>新生児期の特徴を理解し新生児の関りを学ぶ	新生児期における児の特徴と胎外生活の適応について理解できる
5回	<講義>子どもの正常な身体発育と成長に影響を及ぼす因子 <内容>正常な身体発育を知り、発育に影響を与える因子を理解する	子どもの正常な成長と、成長を妨げる因子を理解できる
6回	<講義>子どもの運動機能、精神機能の発達 <内容>正常な子どもの運動機能、精神機能の発達と保健を知る	子どもの運動機能と精神機能の発育発達についての理解できる
7回	<講義>子どもの生理機能の発育と発達 <内容>子どもの生理機能の発達と保健を知る	子どもの生理機能の発育、発達について理解できる
8回	<講義>子どもの栄養と健康 <内容>乳幼児、幼児、学童以降の栄養の特徴と食事に対する問題を理解する	子どもの健康に影響する栄養について知る
9回	<講義>主な疾病の特徴① <内容>新生児の病気、先天性の病気	先天性の病気と新生児期に起こりやすい病気について理解できる
10回	<講義>主な疾病の特徴② <内容>循環器、呼吸器、血液、消化器の病気	子どもに多く診られる症状の対応の理解
11回	<講義>主な疾病の特徴③ <内容>アレルギー、免疫、腎泌尿器、内分泌の病気	子どもに多く診られる症状の対応の理解できる
12回	<講義>主な疾病の特徴④ <内容>脳の病気、感染症、その他の病気	感染の機序と予防対策についての理解できる
13回	<講義>子どもの健康診断と関係機関との連携 <内容>子どもの異常の早期発見のための健康診断と医療機関との連携について学ぶ	健康状態の観察および心身の不調について早期発見をし、治療のための医療との連携について理解できる
14回	<講義>地域における保健活動と多職種の連携 <内容>地域における子育ての保健活動と多職種との連携を学ぶ	家庭、専門機関、地域の関係機関等の連携について理解できる
15回	<講義>子どもの虐待防止 <内容>子どもの虐待に対する現状と対策について学ぶ	子どもの虐待の背景と虐待防止、虐待に対する保育士の役割を理解できる
試験	定期試験	